

消防ヒヤリハットデータベース事例回答シート

【事例概要について】



1. 事故・ヒヤリハットの別	ヒヤリ
2. 体験した事例の名称	35歳が自殺目的のため、ドアを施錠しているもの。詳細不明。 (妻のもとに夫から自殺をほのめかすメールが届いたもの。)
3. 体験した事例の中心的要素	ドア開放直後、家族(妻)が先に入室してしまい、包丁を持った男性(夫)ともみあい状態になり受傷危険にさらしてしまった。
4. 体験した事例の原因・理由	内部の状態がわからないまま、数ヶ所からの入室(ドア開放)を試みたため、人員が分散し安全管理が手薄となってしまった。

【体験した事例の直接的な原因について】



1. 体験した事例の直接的な原因	状況判断に問題があった。行動の意志決定に問題があった。行動の実行に問題があった。
------------------	--

【体験した事例について】



1. 発生日時	平成 19年 11月 26日 午後6時頃
2. 発生した当時の天候	曇
3. 発生した活動現場	屋内：アパート2階
4. 体験した事例の種類	回答者が、他人を負傷させた。
5. 事故の程度(ヒヤリハットの場合、仮に負傷したときの程度)	死亡していた(させていた)だろう。
6. どのようなことが起きたのか(起きそうになったのか)	その他：刃物を持った者との接触
7. 事例体験時の活動	救助、救急現場活動初期、 []
8. (7の活動中) どのような作業中に発生したか	進入・退出、その他：進入(接触時)
9. 同様の体験は、これまでにどの程度の頻度で体験していますか。	初めて体験した。

10. ヒヤリハット体験当事者の属性（回答者は当事者A）

○当事者A	年齢[36]歳、勤続年数[14]年、現場経験年数[11]年、階級[消防士長]、同様の活動[過去に1,2回程]、任務[車長]
○当事者B	年齢[34]歳、勤続年数[12]年、現場経験年数[9]年、階級[消防士長]、同様の活動[過去に1,2回程]、任務[隊員]
○当事者C	年齢[33]歳、勤続年数[11]年、現場経験年数[9]年、階級[消防士長]、同様の活動[過去に1,2回程]、任務[機関員]
その他 (当事者が4人以上の場合)	

11. 事例発生の経過。

	誰(何)が	なにをした	その他・備考など
経過1	A	通報者(妻)に接触、情報収集	ドアカードにより入室困難、内部の様子は不明、呼びかけに反応ない
経過2	A	CPAも想定。BとCに救命処置準備のオーダー	救急車へ2名を向かわせる
経過3	A	破壊用斧携行し、通報者とともに玄関に向う	隊長のみ先行
経過4	A	ドアカードによる入室困難を確認 (呼びかけに回答なし)	指令管制に斧による破壊を試みることを報告(妻も同意済み)
経過5	A	ドアカードの一部を破壊しドア開放	直後、妻が入室してしまう
経過6	妻	包丁を持ち、今にも自らを刺そうとする行為者ともみ合いとなる	「何してるの～」の叫び声
経過7	A	行為者(夫)の手首ごと床面に押えつけ	直ちに入室
経過8	B、C	夫を押えつけ	包丁をもぎとり、妻を別の部屋へ隔離
経過9	A、B、C	3名にて抑制	夫、終始無言
経過10	A	指揮隊長に状況説明	外傷認めず(夫、妻、隊員3名いずれも)

【その事例発生時の状況について】



○事故の場合 : 事故が起きたのはどうしてだと思うか？

ヒヤリハットの場合 : ヒヤリハットで済んだのはどうしてだと思うか？

たまたま、負傷事故にならなかった。

○心理・体調について

a. あせりを感じていた

・早く、現場到着や、活動をしなければならないという“あせり”を感じていた。	はい
・被害拡大が消防活動を上回っており“あせり”を感じていた。	いいえ
・周辺の野次馬などにより“あせり”を感じていた。	はい

b. 注意力が欠如していた

・ 1つの事象に集中し、他の事象への注意力を欠いた。	はい
・ 活動終息（鎮火等）や活動内容が些細だったため注意力を欠いた。	いいえ
・ 体調不良や疲れにより注意力を欠いた。	はい

c. 経験・知識が不足していた。

・ 活動内容が、自己の能力や技量を超えていた。	はい
・ 活動中に起こりうる危険について認知していなかった。	はい
・ 活動に対する経験が不足していた。	はい

d. 心身の不調があった

・ 体調が悪かった。	はい
・ 悩み事があった。	いいえ

○装備・資機材について

e. 資機材の故障・不具合があった。

・ 装備・資機材自体に問題があった。	いいえ
・ 装備・資機材の使用方法が誤っていた。	いいえ
・ 装備・資機材の対処能力を超えていた。	いいえ
・ 必要とする装備・資機材がなかった。	いいえ

○活動環境について

f. 障害物や自然環境（雨・濃煙）によって視界がさえぎられた。

・ 障害物（建物等）のため周囲の状況が見えなかった。	いいえ
・ 特異環境（煙、暗闇、降雨等）のため周囲の状況が見えなかった。	はい

g. 行動しにくい環境だった。

・ 狭隘な場所であった。	いいえ
・ 暑かった（寒かった）。	いいえ
・ 野次馬が多かった。	はい
・ 現場周辺の地理に不案内だった。	いいえ

h. 足場が悪かった。

・ 足元が躓いたり滑りやすかった。	いいえ
・ 足元の強度が不足していた。	いいえ

○指揮・管理について

i. 適切な指示が得られなかった（適切な指示を与えられなかった）。

・ 活動指示が得られなかった。（無線が通じない等。）	はい
・ 指示内容に誤り・偏りがあった。	いいえ
・ 指示内容が実施困難であった。（周辺環境に、隊員技量の把握に欠けた。）	いいえ

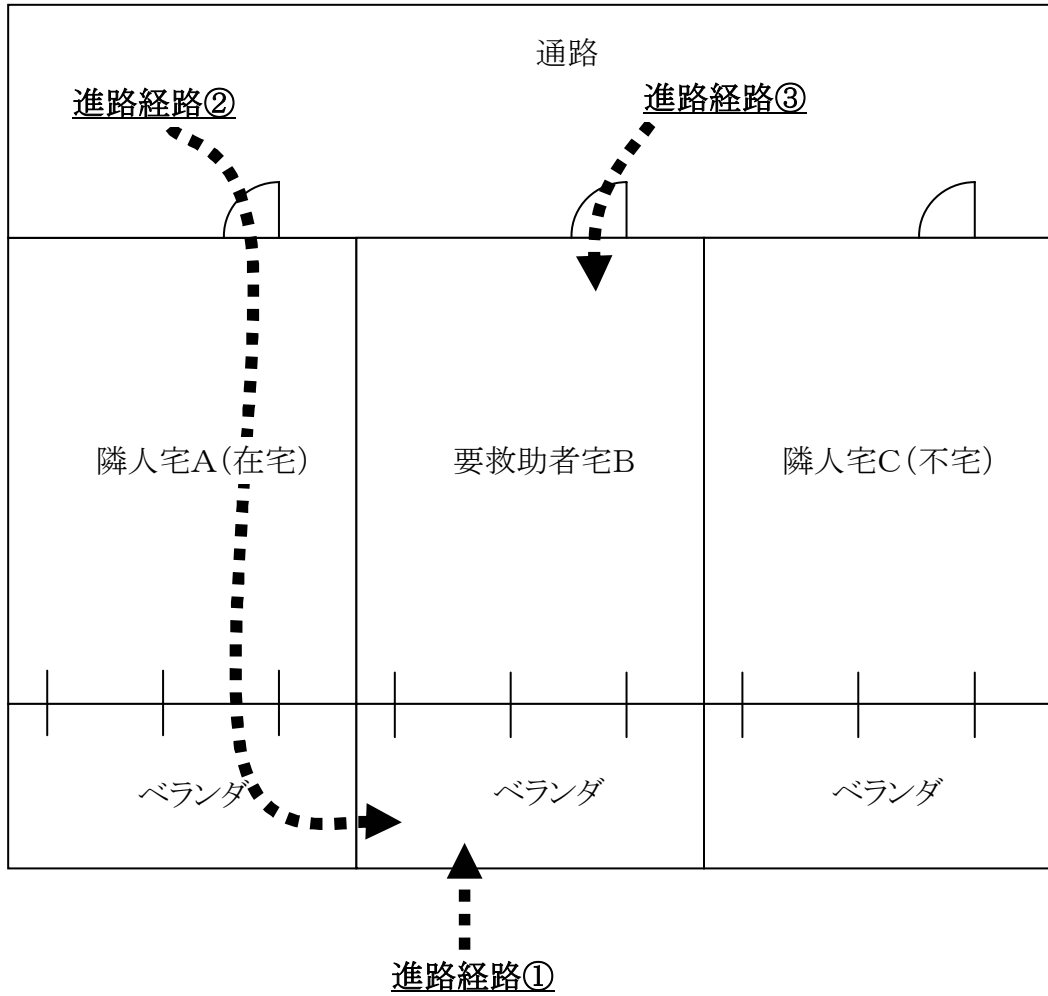
k. 関係者間の情報伝達・役割分担が不十分だった。

・ 隊員の連携が不十分だった。	はい
・ 隊員が不足していた。	いいえ

○その他

l. その他の理由があった。

はい：情報収集できた段階で指揮隊長の指示を待たずドア破壊（進入を急ぐあまり）してしまったため、家族の入室を止められなかった（人員を集められなかった）。



進路経路① …… 2階ベランダへ梯子を架梯し進入。

進路経路② …… 隣人宅内を通過し、ベランダ越しに進入。

進路経路③ …… 要救助者宅のドアガードの一部破壊し、進入。